

内閣総理大臣
安倍 晋三 様

2014年1月27日
新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

人脈人事で任用した経営委員を罷免し、 NHKへの介入をただちにやめることを求めます

歴史観を同じくする「安倍人脈人事」と、NHK経営委員への任用を批判された人たちが、さっそう問題を起こしています。

作家の百田尚樹氏は、ツイッターで都知事選挙にふれて、「私が東京都民だったなら、田母神俊雄氏に投票する」と発言し、さらに「NHKの経営委員がそんなことしていいのか？」との批判が多数あったことを披瀝し、「まとめて答えてやる。いいんだよ!!」と品性もなく開き直っています。また、埼玉大学名誉教授の長谷川三千子氏は、国会内で開かれた市民集会で、安倍首相の応援団長と自認しNHKの経営委員になったと得々と公言する異常さです。

放送法で、経営委員は「公共の福祉に関し公正な判断をすることができ、広い経験と知識を有する者」で、「放送が公正、普遍不党な立場に立って…健全な民主主義の発達に資する」ことを「自覚」するよう求められています。それに反する人事をおこなった安倍首相の任用責任が厳しく問われており、ただちに罷免すべきです。

さらに、こうした経営委員によって会長に選ばれた舛井勝人氏が25日に行なった就任会見は、公共放送のトップに不適任であり、ただちに罷免されるべき人物であることを内外に示しました。この点でも首相の責任は免れません。

舛井氏は「慰安婦（制度）は戦争地域ではどこでもあったこと」と言い放ち、韓国を名指しで「日本だけが強制連行したみたいなことを言っている。補償は日韓条約ですべて解決されている」と、昨年、国際的な厳しい批判と抗議にさらされた橋下大阪市長と同様、歴史的事実に反する「持論」をまくしたてました。首相の靖国神社参拝についても、「総理の信念で行かれた。…『死んで靖国に帰る』と送りだした。こういう人が大勢いる」と発言、日本の侵略戦争を肯定・美化する立場を鮮明にしました。「歴史認識も人権意識も欠けた発言」（韓国）などとすぐに厳しい批判が上がり、外交問題に発展しています。また、秘密保護法をNHKスペシャルなどで取り上げなかったことを聞かれた舛井氏は、「通っちゃったんで、言ってもしょうがないと思う。…あまりカッカする必要はないと思う。変なことが起きるとは考えにくい」と、およそ言論・表現の自由を何よりも大事にすべき放送人とは思えない雑論を展開しました。

いうまでもなくNHKは、戦前、国家の宣伝機関として大本営放送を繰り返し、国民を戦争に駆り立てた痛苦の教訓から、戦後、受信料というかたちで視聴者に支えられる公共放送として出発しました。放送法は第1条2項で「放送の普遍不党、真実及び自律」を定めています。放送法を真っ向から蹂躪し、内外から見識を疑われる人物をNHK会長に選出した経営委員会の責任は重大です。受信料を支払う視聴者の立場からも舛井氏がNHK会長であることは到底容認できません。

安倍首相は、政権維持と政策遂行のために、公共放送NHKを思い通りにしようと、その人事や経営、番組に介入することをただちにやめるよう強く求めます。